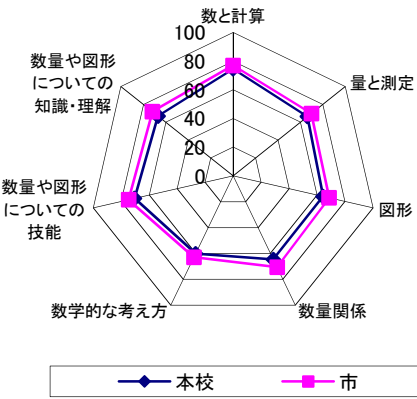


宇都宮市立上河内東小学校 第6学年【算数】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	数と計算	74.7	77.0	70.4
	量と測定	66.3	69.8	68.5
	図形	64.4	68.6	72.4
	数量関係	64.7	70.6	60.4
観点別	数学的な考え方	60.2	63.0	54.8
	数量や図形についての技能	70.5	74.7	67.3
	数量や図形についての知識・理解	66.9	72.0	74.9

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。
（算数では本市独自の設問が含まれるため、参考値は全設問に対応した値ではない。）



★指導の工夫と改善

○良好なもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	・平均正答率は、市の平均を2.3ポイント下回っている。小数のかけ算や分数のわり算、分数・小数・整数の乗除混合計算などの問題は、市の平均と同じか上回っているが、小数のわり算や分数の除法の文章問題に合った式の選択の正答率が、市の平均を下回った。	・小数のわり算では、小数点の動かし方など基本的な解き方を復習し、習熟させる。分数の除法の文章問題については、わる数、わられる数と単位の関係に着目して式が立てられるよう指導する。
量と測定	・平均正答率は、市の平均を3.5ポイント下回っている。時速の式や三角柱の体積、単位量当たりの考え方の説明の問題は、市の平均と同じか上回っているが、三角形やひし形の面積、円柱の体積の問題の正答率が、市の平均を下回った。	・面積、体積を求める公式について復習し、基本問題から少し複雑な形の求め方までを練習し、習熟を図る。
図形	・平均正答率は、市の平均を4.2ポイント下回っている。点対称な図形の問題や三角柱の展開図の問題は正答率が高かったが、線対称な図形の問題や円の半径から円周を求める問題の正答率が低く、市の平均を下回っている。	・線対称な図形については、対象の軸で折ると重なることを押さえ、対応する点を見つけたり、実際に図形を描いたりするなどして、ていねいに確認する。円については、半径と直径、円周の関係を改めて確かめた上で、それぞれを求める問題などの練習をさせる。
数量関係	・平均正答率は、市の平均を5.9ポイント下回った。基礎的な内容の問題については、概ねできているが、文字を使った式や比例の関係式の問題の正答率が低い。	・文字を使って2つの関係を式に表したり、一方の文字の値から他方の文字の値を求める練習をさせ、習熟を図る。また、比例の関係をxとyを使った関係式に表す練習をさせ、習熟を図る。